

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して



静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

平成29年(2017年)
9月5日
火曜日
第191号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3134 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県教育委員会 新委員の紹介

かとう ゆりこ
加藤 百合子氏 (菊川市在住)
任期：平成29年7月31日から平成32年10月18日

東京大学卒業後、英国クランフィールド大学で修士号取得。米航空宇宙局(NASA)のプロジェクトに参画後、平成12年からキャノン(株)に勤務。平成21年に農業シンクタンク(株)エムスクエア・ラボを設立する。地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会委員。



加藤委員からご挨拶

超少子高齢化、一層のグローバル化と情報社会を迎え、解のない、不確実な世の中ですが、逆に非常に創造的な社会でもあります。故に、子どもたちには、基礎知識や教養をしっかり身に付け、周囲と協力しながら新たな価値観を創造し、楽しく生きていくすべを身に付けてもらいたいと考えています。それには、子どもを教え守るだけでなく、子どもが社会の一員として自ら気付き、育つ仕組みが必要であり、その構築の一助となればと思います。

事業の核「寺子屋コーディネーター」を配置
各寺子屋には、「寺子屋コーディネーター」が一人ずつ配置されており、寺子屋の運営には欠かせない存在となっています。

また、学習支援後には、各寺子屋では、大学生ボランティアが活躍しています。寺子屋で学ぶ小中学生にとって、大学生は、自分たちのお兄さんお姉さんのように感じられ、普段とは違う雰囲気の中で

「大学生は年も近いし、身近な存在だからすぐく聞きやすい」「自分から勉強する気にならないので、こういう時間があると勉強する気持ちになれて良い」寺子屋に参加している中学生の声です。

今後に向けて
今年度から3年間、モデル地域の成果と課題などを検証し、その結果を踏まえて、学校支援地域本部の枠組みを活用しな

地域による放課後学習支援事業「しずおか寺子屋」が、今年6月から始まり、今年6月から始まりました。この事業では、袋井市、島田市、三島市をモデル地域として、子どもたちが主体的に学習に取り組む習慣を身に付けることができるよう、地域の教育力を活用した放課後等における学習支援を実施しています。

その役割は、
・学校との連絡
・支援内容の調整
・学習環境の整備
・学習支援員の配置
・学習支援員への指導・助言
など多岐にわたります。特に学校との連絡調整では、各学校の実情を踏まえたきめ細かい対応が求められるため、コーディネーターは、学校の事情をよく理解している教員OBの方が務めています。

「特別講座」を実施！
お兄さん・お姉さん先生、大学生ボランティアの活躍！

袋井市の「南の丘寺子屋」では、夏休み期間を利用して、外国人講師に「特別講座」を実施！

「しずおか寺子屋」始めました！
地域による放課後学習支援事業

「しずおか寺子屋」始めました！
地域による放課後学習支援事業

「しずおか寺子屋」始めました！
地域による放課後学習支援事業

「しずおか寺子屋」始めました！
地域による放課後学習支援事業

大学生ボランティア 随時募集中!!

県では、県内大学やふじのくに地域・大学コンソーシアムと連携し、子どもたちの勉強をサポートする大学生ボランティアを募集しています。参加申し込み方法等詳しくはホームページをご覧ください。

参加大学(7月末現在)

静岡県立大学、静岡福祉大学、静岡理工科大学、聖隷クリストファー大学、浜松学院大学、日本大学 (計26人)

検索
問 社会教育課
054(221)3162
HP しずおか寺子屋で

みひまき子屋(三島市)

三島市では、市立徳倉小学校と北上中学校の2カ所で実施しています。徳倉小学校では、毎週月曜日の15時から1時間程度、学校の図書室を利用し、小学3年生を対象に算数の指導を行っています。児童1~2人に対し、学習支援員が1人つき、マンツーマンに近い体制で指導しています。

北上中学校では、毎週木曜日の18時から2時間程度、北上文化プラザを利用し、中学3年生を対象に数学や英語の宿題のサポートを中心に指導を行っています。生徒2~3人に対し、学習支援員が1人つき、少人数体制で指導しています。



マンツーマンで掛け算を教える様子(徳倉小学校)



ホワイトボードで数学をレクチャー(北上中学校)

南の丘き子屋(袋井市)

袋井市立袋井南中学校では、隔週水曜日の15時から2時間程度、学校の木工室を利用し、中学1~3年生を対象に国語、数学、英語を中心に指導を行っています。生徒4~5人に対し、学習支援員が1人つき、自主学習のサポートをしています。



大学生による英語指導

しまだはつくらき子屋(島田市)

島田市立初倉小学校では、毎週水曜日の15時30分から1時間程度、学校に隣接する公民館を利用し、小学3年生を対象に算数の指導を行っています。児童4~5人に対し、学習支援員が1人つき、個別に対応する必要がある児童は大学生がサポートをしています。



時計の問題をみんなで解く

実践NOTE381

チーム・プランニングの魅力

産みの苦しみと達成感

浜松南高等学校 教諭 西川 敦子



ALTのプレント先生と授業案を考える筆者(右)

私が現行の課程の「コミュニケーション英語I」を初めて担当したのは2年半前でした。それから30カ月、いろいろな悩み挑戦し苦しいこともありましたが、達成感や充実感を感じることがたくさんありました。

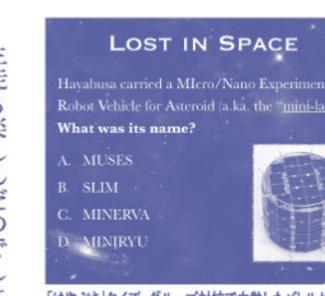
長時間のプランニング
生徒が教科書で学んだことを活用し、楽しむことを目標に授業案を作り直しました。新出語句をどう再利用させるか、生徒に飽きさせないためにどんな活動を取り入れるか、必死に知恵を絞りながら、授業の前日まで内容を何度も練りました。

「はやぶさ」授業案
回数を重ねることに、プレント先生と私の間にプランニングに対する共通意識ができてきました。2年生の「コミュニケーション英語II」最後のレッスンである日本の小惑星探査機「はやぶさ」をテーマにした授業では、私一人では絶対に作ることができない、チームプランニングの集大成といえる授業案が出来ました。宇宙オウチの私は星の名前や「はやぶさ」に搭載されたテクノロジーの名称を英語で覚えるだけでも一苦労だったのですが、プレント先生は宇宙に非常に興味があり、太陽系や「はやぶさ」の話題を扱った英語のビデオを見つけてくれたので、それをリスニング活動に使いました。

生徒も楽しんだので、プレント先生にも感謝しています。

自分たちの答えを書く活動を多く行いました。また、ビデオ画像を使って生徒の興味関心を刺激するよう工夫しました。パワーポイントも使いましたが、生徒をつまずかせるような難しい言葉を使っているか、授業前に入念にチェックしました。

「はやぶさ」授業案
回数を重ねることに、プレント先生と私の間にプランニングに対する共通意識ができてきました。2年生の「コミュニケーション英語II」最後のレッスンである日本の小惑星探査機「はやぶさ」をテーマにした授業では、私一人では絶対に作ることができない、チームプランニングの集大成といえる授業案が出来ました。宇宙オウチの私は星の名前や「はやぶさ」に搭載されたテクノロジーの名称を英語で覚えるだけでも一苦労だったのですが、プレント先生は宇宙に非常に興味があり、太陽系や「はやぶさ」の話題を扱った英語のビデオを見つけてくれたので、それをリスニング活動に使いました。



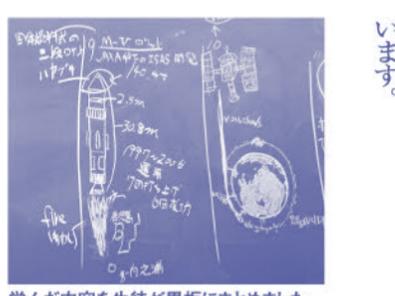
「はやぶさ」クイズ グループ対抗で白熱したバトルが繰り広げられました

自分たちの答えを書く活動を多く行いました。また、ビデオ画像を使って生徒の興味関心を刺激するよう工夫しました。パワーポイントも使いましたが、生徒をつまずかせるような難しい言葉を使っているか、授業前に入念にチェックしました。

暗中模索のスタート
現行の課程では、「英語の授業は英語で行う」ことが基本となりました。また、「細かい内容を日本語で確認することはしない」「英語のまま概要を捉えさせる」「話す・聞く・書く・読む」の4技能の力を付けさせてそれを評価することも求められています。言うのは簡単ですが、40人クラスでどう実現していくのかを考えると、不安を感じながらスタートでした。

実際の授業では、40人の生徒がアクティブに参加できるように、班分けをし、各班がホワイトボードに

また、この授業では、プレント先生が作った太陽系の惑星についてのプリントを使っておイズ大会を行いました。4人1組のグループに分かれた生徒たちは、一人ずつ別々のプリントを読み、得た情報をグループ内で共有した上で、クイズに臨みます。それぞれが自分に与え



学んだ内容を生徒が黒板にまとめました

この2年半は、チームワークで乗り切ってきました

実際の授業では、40人の生徒がアクティブに参加できるように、班分けをし、各班がホワイトボードに

また、この授業では、プレント先生が作った太陽系の惑星についてのプリントを使っておイズ大会を行いました。4人1組のグループに分かれた生徒たちは、一人ずつ別々のプリントを読み、得た情報をグループ内で共有した上で、クイズに臨みます。それぞれが自分に与え

また、この授業では、プレント先生が作った太陽系の惑星についてのプリントを使っておイズ大会を行いました。4人1組のグループに分かれた生徒たちは、一人ずつ別々のプリントを読み、得た情報をグループ内で共有した上で、クイズに臨みます。それぞれが自分に与え

実践NOTE382

小さな町の小中連携

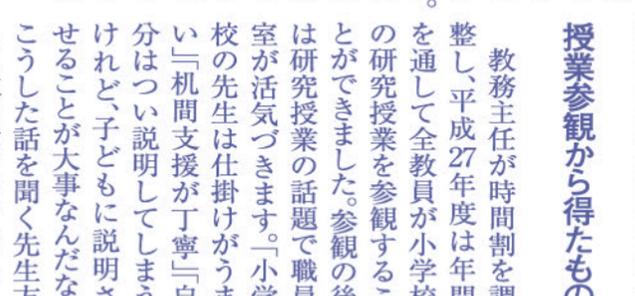
小学校の研究授業参観を通して

松崎町立松崎中学校 教諭 堤 奈々



授業参観の報告をする筆者(右)

内とはいえ異校種に勤務することに、大きな不安を感じていたことを覚えています。その一方で、このような立場だからこそ、町の小中学校の連携を深めることができるのではないかと考えるようになりました。



小学校の授業参観の様子

研修主任として大切にしていることの一つに、研修だよりの発行があります。文字にすることで忙しい日々の中でもいつでも見ることができ、資料として活用してもらおうと、校内研修を活性化させることを目指しています。小学校の授業についても、授業のねらいや子どもたちの表れ、参観した先生方の感想などをまとめて紹介しました。この研修だよりを小学校に届けたところ、「中学校で私たちの実践が紹介されたことを知り、励みになりました」という言葉をいただき、私にとっても大きな励みになりました。

「しずおか型 小学校英語教育活動モデルプラン」開発事業
今年3月、新学習指導要領が告示され、小学校では平成32年度から全面实施となります。小学校3・4年生で外国語活動が年間35単位時間、小学校5・6年生では外国語科として年間70単位時間の学習が始まります。
小学3～6年生の授業時間数は、週当たり1時間の増加となり、各学校では学校行事や時間割等、教育課程の見直しが必要となります。
各学校が地域や児童の実態に応じた教育課程を編成するに当たり、参考となるモデルプランを開発・発信するため、県教育委員会では、実践地区及び実践校を平成29・30年度の2年間指定し、研究を進めています。
実践校による取り組みについては、11月に主幹教諭・教務主任を対象に実施する「教育課程編成・実施研修協議会」にて報告する予定です。

「日頃から教師が児童たちの話を大切にしていることが分かります。自分の姿勢についても見直そうと思いました」
これは、本校の教員が松崎小学校での授業を参観した際の感想です。2年前から、同じ町内の松崎小学校で研究授業があるときは、本校の教員が必ず参観するようにしています。

研修主任として
研修主任である自分の役割として、小学校の研修の取り組みを中学校に伝えたいと考えました。そのためには実際に授業を見ることが最も効果的だと考え、小学校に研究授業の参観を依頼しました。これから松崎中学校の生徒になる小学生たちがどのような授業を受けているのか、小学校の先生方がどのようなことを大切にしているのか、子どもたちと関わっているのか。中学校の教員がこれらを知ることは、生徒理解の上でも、校内研修においても大きな意味があります。

また、校内研修で「このくらい分かるだろう」と思うようなことでも、小学1年生には伝わらないことに驚きました。真剣に考えている姿が印象的でした」と、子ども達の発達段階とそれに対する小学校の教員の適切な支援について報告した先生方もいました。この報告は、「中学校では、生徒の実態に即した支援ができていないのだろうか」と見直す契機となりました。

また、校内研修で「このくらい分かるだろう」と思うようなことでも、小学1年生には伝わらないことに驚きました。真剣に考えている姿が印象的でした」と、子ども達の発達段階とそれに対する小学校の教員の適切な支援について報告した先生方もいました。この報告は、「中学校では、生徒の実態に即した支援ができていないのだろうか」と見直す契機となりました。

実践地区
長泉町教育委員会
袋井市教育委員会
実践校
長泉町立長泉小学校
長泉町立南小学校
長泉町立北小学校
袋井市立袋井南小学校
袋井市立高南小学校
【義務教育課】

町内での異動をきっかけに
平成26年度に、私は松崎小学校から松崎中学校へ異動しました。同じ町

研修だよりの発行
今年3月、新学習指導要領が告示され、小学校では平成32年度から全面实施となります。小学校3・4年生で外国語活動が年間35単位時間、小学校5・6年生では外国語科として年間70単位時間の学習が始まります。

研修だよりの発行
今年3月、新学習指導要領が告示され、小学校では平成32年度から全面实施となります。小学校3・4年生で外国語活動が年間35単位時間、小学校5・6年生では外国語科として年間70単位時間の学習が始まります。

研修だよりの発行
今年3月、新学習指導要領が告示され、小学校では平成32年度から全面实施となります。小学校3・4年生で外国語活動が年間35単位時間、小学校5・6年生では外国語科として年間70単位時間の学習が始まります。

実践地区
長泉町教育委員会
袋井市教育委員会
実践校
長泉町立長泉小学校
長泉町立南小学校
長泉町立北小学校
袋井市立袋井南小学校
袋井市立高南小学校
【義務教育課】



新学習指導要領への対応に向けた特別支援学校の取り組み(例)を紹介します。

(主体的・対話的で深い学びの実現に関して)

【アクティブ・ラーニング プロジェクトチーム】

資質・能力の育成

「主体的・対話的で深い学び」の実現

校内研修
◇障害や発達段階等の実態に応じた「主体的・対話的で深い学び」の具体的な姿と支援方法を検討

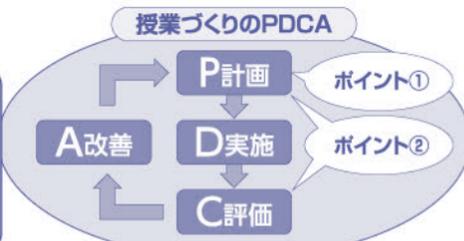
授業実践
◇学びの過程を意識した授業づくりと評価の導入



特別支援学校においても、児童生徒の障害の軽重を問わず、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目標に、校内OJTにセンター研修が活用されています。

【肢体不自由特別支援学校の取り組み(例)】

- 校内研修** テーマ 「自ら学び、自ら表現する人」を目指した授業づくり ~評価に重点を置いたPDCAサイクル~
- ポイント① 障害特性、発達段階に応じた「自ら学び、自ら表現する人」の具体的な姿の設定 (「主体的・対話的で深い学び」の具体的な姿とのつながり)
 - ポイント② Plan(計画)、Check(評価)の段階でセンター研修の授業設計等を活用
- ※ 外部の専門講師(大学教授、医師、作業療法士、理学療法士等)との連携



障害の重い児童生徒の授業では…

- ★主体的な学び(対物、対環境)
 - ・子ども自らの動き
 - ・気付きに対する反応
- ★対話的な学び(人との関わり)
 - ・周囲の言葉掛けに応じる姿(視線、表情による表出)
- ★深い学び(主体的・対話的学びの生活場面での表出)
 - ・単元の初めと終わりの表出等の変化

- 【解決したい課題や問い】
児童生徒が自ら働き掛けたいと思える活動を設定
- 【考えるための材料】
注視したり、耳を傾けたり、表情、声、体の動きによる意思の表出を引き出す教材・教具を準備
- 【対話と思考】
互いを意識し、働き掛け合いながら共に活動する場を設定
- 【学習の成果】
今日は「〇〇」をやった「またやりたい」と感じられる振り返りと次の活動への見通し、期待感を感じる場を設定

ピース又吉直樹氏芥川賞受賞作『火花』誕生の立役者が語る! 「ふじのくにブックレクチャー 文芸編集者の仕事『火花』ができるまで」

参加者募集!

芥川賞を受賞した又吉直樹氏のベストセラー小説『火花』。その担当編集者である浅井茉莉子氏を講師にお招きし、『火花』が刊行されるまでを例に、一冊の本が出来上がるまでに文芸編集者がどのように関わっているのかについてお話しいただきます。

話題作がどのように誕生したのかを知ることができるチャンスです。なかなか知る機会のない文芸編集の世界をのぞいてみませんか?読書がもっと楽しくなること請け合いです。ぜひご参加ください!

- 日時 平成29年10月1日(日) 午後2時~3時30分(1時30分開場)
- 会場 静岡県立大学 大講堂
- 演題 文芸編集者の仕事『火花』ができるまで
- 講師 浅井茉莉子氏((株)文藝春秋 文芸編集者)
- 対象 どなたでも
- 定員 600人(要事前申込み・先着順)
- 参加料 無料
- 申込方法 電話、FAX、メールにて、または静岡県立中央図書館ホームページから申し込み



(氏名、連絡先電話番号、講演会名をお伝えください)

申・問 県立中央図書館企画振興課 ☎054(262)1246 ☎054(264)4268
Eメール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp
HP http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp

富士山麓の大自然を体感しよう!!

~第3回富士山麓フェスティバル 参加者募集~

自然散策、創作活動、軽スポーツなどを体験しながら富士山麓の大自然を体感することができるイベントです。また、昼食はバーベキューを行います。

ご家族皆さんで楽しんでいただけますのでお気軽にお申し込みください。

- 日時 平成29年9月17日(日) 午前9時~午後4時 (午前8時30分 受付開始)
- 内容 自然散策、創作活動、きこり体験など
- 対象 現地集合ができる方
- 定員 100人(先着順)
- 費用 1,000円/人
- 申込方法 お電話でお申し込みください
- 申込期限 平成29年9月14日(木)

◆今後のイベント◆

実施日	イベント名
9月23日(土)	初秋間伐&バーベキュー体験
10月25日(水)	ほうとうづくり体験

申・問 富士山麓山の村
☎0545(36)2236

【過去のイベントの様子】



自然散策ツアー



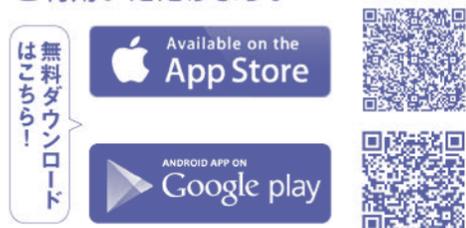
創作(どんぐりアート)



きこり体験

静岡県幼児教育センター発のスマートフォンアプリ! ふじさんっこぞだてメール

子育てQ&A、お役立ちリンク、お知らせなどがご利用いただけます。



問 幼児教育センター ☎054(221)3287

ひきこもりで悩んだときには「アンダンテ」に

青少年交流スペース「アンダンテ」は、高校生相当年齢から30歳代のひきこもり傾向にある青少年及びその家族を支援するための交流の場です。無料で利用できます。

◆個別面談及び電話相談◆ ◆フリースペース◆

日時: 月~土曜日 正午から午後4時まで
場所: 男女共同参画センター「あざれあ」5階 (静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)

※面談希望の方は、事前の予約が必要です。電話またはFAXにてお申し込みください。

◆親(保護者)の会◆

ひきこもり傾向にある青少年を抱える家族が交流し、情報を共有します。

日時: 毎月第3土曜日 午後1時から4時まで
場所: 静岡県青少年会館 (静岡市葵区田町1丁目70-1)

問 青少年交流スペース「アンダンテ」 ☎☎054(255)0600



毎月 第2、4水曜日は

「こちら高」の日

こちら高校生〇〇高新聞は、「自慢のわが高」の情報を、高校生の皆さんが取材し記事を書く、高校生のための1ページです。静岡新聞は、高校生の「今」を県内全域に発信していきます。

1月11日 城南静岡高校	4月12日 磐田農業高校	7月12日 静岡サレジオ高校	10月11日 静岡東高校
1月25日 富士高校	4月26日 島田樟誠高校	7月26日 磐田南高校	10月25日 三島北高校
2月8日 熱海高校	5月10日 静岡農業高校	8月9日 焼津中央高校	11月8日 オイスカ高校
2月22日 静岡商業高校	5月24日 不二聖心女子学院高校	8月23日 富岳館高校	11月22日 沼津東高校
3月8日 清水桜が丘高校	6月14日 榛原高校	9月13日 加藤学園院秀高校	12月13日 静岡高校
3月22日 御殿場高校	6月28日 浜松北高校	9月27日 掛川西高校	

静岡新聞社読者プロモーション局内
こちら高校生〇〇高新聞編集室

電話 054-284-8984

ごち高 検索
http://www.at-s.com/blogs/kochika/ 見てね!

広告

静岡新聞で「こちら高校生〇〇高新聞」好評掲載中!! 7日間の無料お試し読み、ご購入のお申し込みは、0120-89-4311へ(月曜~金曜、9時~17時 ※土・日・祝日は除く)